

国保料納付が優良な成績の 64団体、9人を表彰

市では、国保料の完納や優良な納付成績をあげた団体、個人に、さる七月十四日、表彰状と金一封を贈りました。当日は表彰式に続いて取組組合長会議を開き、今年度の国保料精算賦課の内容説明や、意見交換を行い、国保料の完納について一層の協力を願った。



成績優良な団体に表彰状が贈られました

秋葉山の植物を大切にしましょう

四季おりおりの美しさを見せられる秋葉山には、草や木が緑に繁り、草花が咲きほこり、豊かな自然がふれています。また私たちに心の安らぎをも与えてくれます。このように秋葉山の植物は、空気や水と同じくらい重要なものです。みなで大切にしていきたいと思います。

親子の植物教室

図書館では、次のように「親子の植物教室」を開き、身近な植物の検索方法や標本作りなどを行います。ふるってご参加ください。

♡とき…8月16日と26日の2回(時間は午前9時～午後4時)

♡ところ…図書館展示室

♡内容…植物の検索方法、植物の標本製作、秋葉山の植物観察

♡対象…小学校1年生～6年生(1年生～4年生は保護者同伴)

♡募集人員…30組(60人)、定員になりしだい申し込みます。

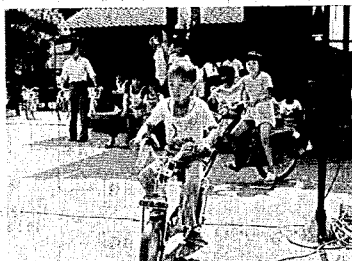
♡持物…昼食、家のまわりの植物で名前を知りたいもの3種類(根のついたもの)をポリ袋に入れて持参してください

♡指導者…理科教育センター清野展先生、白根第一中学校白石正夫先生

♡申し込み…図書館(☎2-0097)へ

※秋葉山を散策しますので、軽装でおいでください。2回目の日程、内容は1回目終了時に説明します。

草水町一
♡その他の優良組合
新栄町、中沢町、福島、田島、萩島、朝日、小口、本町二、一、区、柄目木、田家三、七日町、古津、古田、金沢町一、下興野町
♡個人
五十嵐、三ツ木、日室町、小田、紀美子、金沢町四、木村ヒサ子(新金沢町)、吉沢伊三郎(山谷町二)、古川セツ(秋葉二)、真柄律(滝谷町)、石津春子(草水町二)、村田ノブ(草水町三)、阪井ヒサ(程島)



自転車の正しい乗り方を勉強

さる7月4日、飯柳神明宮で交通安全教室が開かれ、「自転車の正しい乗り方」についての指導が行われました。教室に参加した20人の子供たちは、交差点の正しい通行方法や安全確認のための一担停止など、交通ルールのいろはを学びました。



クレジット3回～20回払い

カメラ・8ミリ各社新機種在庫豊富
D.P.E撮影なら安く迅速な当店へみんなの店
カメラのサンジツ
本店・新津市本町4-5-6 (2)00450
新町店・新津市新町1-2-29 (2)2484

祝儀・仏事式菓子

ニイツ銘菓雪かこい 銘菓・栗太郎
駿河屋 田家屋
ニイツ本町二 TEL (2) 0543
ニイツ本町四 TEL (2) 0430



明治大正 夜話

XVII 天保銭でない天保銭

昭和初期に私小説家として活躍した嘉村敏多の小説「途上」の中に、陸軍大学を首席で卒業し、栄進の途上にある一少佐が郷里の母校を訪ねて、全校の中学生の希望の的となることが記されている。

Y中学の卒業生で、このほど陸軍大学を首席で卒業し、恩賜の軍刀を拝領した少佐が、帰省のついでに一日母校の漢文の旧師を訪ねて来た。

金モールの参謀肩章を肩に巻く、天保銭を胸に吊った佐官が人力車で校門を辞した全校のどんな劣等生も血を湧かした。――

なお、之に続けて、上級学校に進学できない「私」が、その親しい同級生であり、ライバルでもあった軍人志望の伊藤が、中学卒業後、陸士、陸大を卒業して栄進してゆく様子を、羨望的に想像する描写がある。すなわち、――

私は中学を出れば草深な時代に羨望や畏敬をもつて

い田舎に帰り、百姓になる当てしかなない。もう自分とはどうでもいから、と私は心で繰返した。

幾年の後、軍人志望の伊藤の、肩に金モールの参謀肩章を、胸に天保銭を、さうした彼の立身出世の心が胸に宿って火のやうに燃え、時として遠い彼方のそれが早くも実現し、中老の私は山の家で、峡谷のせせらぎを聞き、星のちらつく空を仰ぎ、ただ静かに親友の栄進に満ち切つてゐるやうな錯覚を教室の机で起しつづけた。

この小説は、満州事変の勃発した翌年、すなわち昭和七年に発表されたものである。右に「天保銭」とあるのは、もちろん、金貨の天保銭ではなく、陸軍大学出身者の胸章が天保銭に似ていたところから、この胸章や陸大出身者のことを天保銭と称し、戦前戦中は、軍人として輝くかやい将来を約束されたものとして、一般の人々から畏敬に似たような感じを仰ぎ見られたのであった。

このような場合には、「あの将校は天保銭組だ」とか、「あの人は天保銭だ」とか言われ、丁度東洋帝国大学の銀時計の例に特別視されていた。右の例は軍国日本の華やか

天保銭物語(一二)

阿達義雄

に自堕落な生活をしていった加代子は終戦後、〈封をしたまの、百円札の束を、開いたなどと思ふままに使うような身分になったのに反し、女としては心掛けもよく、隣組長に推され、銃後の勤めを真面目に果たしたひきは、生きてゆくために閑居として苦勞してゐる様子をアリスチックに描き出したものである。

この小説には、先ず満州事変、二二六事件等を経て、軍部のファッションの色が濃く街には其筋の干渉が次第に厳しくなつてきたのに、策地の支那料理屋の紅蘭亭には政治

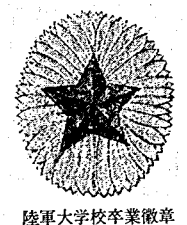
家や官吏や軍人などの宴会がある、取締りが甚だゆるやかであつたことなどが述べられた後の所に、――

「日軍軍人は既に始まつてゐた。軍人達の鼻息はだんだん荒くなり、始終彼等の宴会があり、胸に天保銭をつけた連中が、興奮して天下国家を論じては酒を飲んだり、詩吟をしたりしてゐた。(三)――

という一節が見え隠れする。この二十六、七頃書かれた明治三〇六、七年頃書いたと思はれる『要人芸談』の中にも、やややゝ露骨に眺められているが、鵲外も軍人であつたためか、間接的に婉曲に描かれてゐる。

佐藤少将の書いた山地中將伝は、誰一人批評して遣ものもなく、世間からは九で冷遇せられてしまつた。

併し、あの伝の叙事中に寓してある議論がトルストイ伯の所見と時合して居るのは妙ではないか。戦争と平和とは佐藤少将に読まされるか、又は山地中將伝をトルストイ伯に読ませたら、きつと双方で同情を表するだらう。殊に佐藤少将が無邪氣な毒舌で、天保銭のやうなものを胸につけて云々と云ふところは、伯の喝采を受けるに相違ない



陸軍大学校卒業徽章

秋葉山が素晴らしくなりました
団体様の弁当より、
そば・丼物・一品料理
名物おでん
噴水広場の上 無料休憩所
食堂・松櫻
2-0345
4-4972

11時～2時迄
サービス・天ぶら定食…¥400
特製みそラーメンをどうぞ
食堂 まつざか ☎2-3981

お買物、ご用命は市内で